

九 手 連 指 針

【前文】

昭和47年「九州手話通訳者連絡会」の発足により、九州各県手話サークルの更なる資質向上と連携強化のために「九州手話サークル連絡協議会」(九手連)を結成した。

以来、聴覚障害者の社会参加の進展と時代の変遷に対応すべく、様々な事業展開を通じて九手連の歴史を培ってきた。

そして今、益々多様化する社会進展のニーズに応え得る九手連の実現に向け、平成16年の『九手連創立30周年』を契機として、ここに九手連指針を発信する。

【基本理念】

九州は一つというスローガンの下に九州各県の資質向上と強化のために、九州各県手連相互の連携を図り、九州聴覚障害者団体連合会、全国手話通訳問題研究会九州ブロックとの緊密な連絡協議に努め、もって聴覚障害者の生活と権利を守り、その福祉に寄与することを目的とする。

【基本構想】

1 組織強化

理事会において各県手連間の連携を図る
幹部会議を定期的を開催する

2 ネットワーク 各種関係団体との連絡調整及び連携

九州聴覚障害者団体連合会、全国手話通訳問題研究会九州ブロック及び九州手話サークル連絡協議会の三団体の連携強化
関係諸団体との連絡調整及び連携

3 研修・研究会の企画と実施

多様化する社会のニーズに応え得る「力」を培うため、研修・研鑽の場を企画し、活動基盤の強化を図る
諸制度の把握と正しい理解を求めるため、研修を重ねる

4 情報の共有化

理事会において情報の収集と発信
各県手連に配置した通信員による情報の収集と発信
機関紙「はっけん」の定期発行
ホームページの活用

5 その他

「九州は一つ」というスローガンの実現のため、沖縄県手連設立を支援する
全国レベルでの情報交換を図る

(九州手話サークル連絡協議会 平成16年 6月)